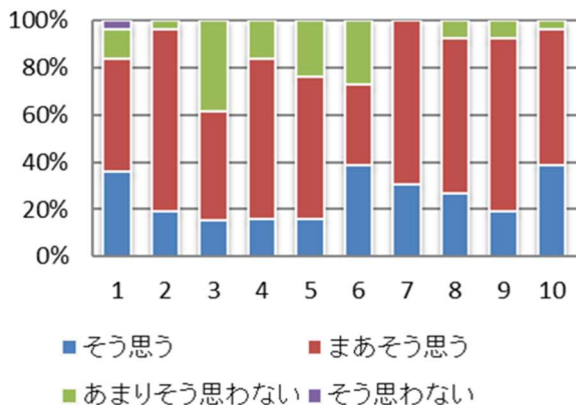


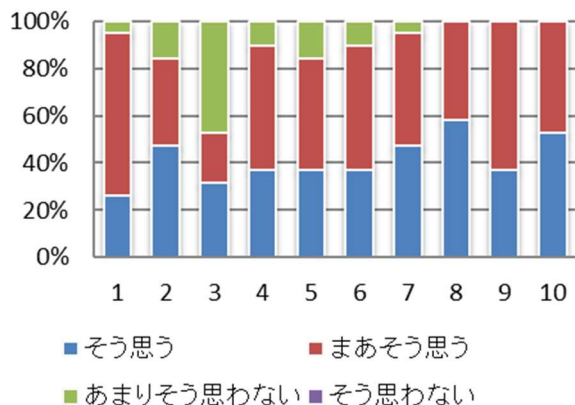
設問1 児童の様子（児童、保護者、教職員の比較）

No.	質 問		R 1	R 2
1	自分の思い・考えを発表している。	児童	80	79
		保護者	75	79
		教職員	72	△82
2	毎日、家庭学習に取り組んでいる。	児童	92	91
		保護者	78	79
		教職員	83	82
3	よく本を読んでいる。	児童	75	▼67
		保護者	60	59
		教職員	78	▼64
4	気持ちのよい挨拶や返事をしている。	児童	89	▼82
		保護者	71	△79
		教職員	50	△79
5	時と場に合った正しい言葉遣いをしている。	児童	81	83
		保護者	67	△76
		教職員	64	△78
6	進んで運動に取り組み、体力が向上している。	児童	71	△82
		保護者	71	△79
		教職員	83	79
7	健康や安全に気を付けて生活している。	児童	91	89
		保護者	83	84
		教職員	89	▼82
8	仲よく思いやりをもって生活している。	児童	87	91
		保護者	78	△89
		教職員	89	86
9	基礎的・基本的な学習内容が身に付いている。	児童	83	86
		保護者	76	△84
		教職員	83	79
10	自分らしさ（自分のよさ）を発揮し、楽しく学校に通っている。	児童	86	84
		保護者	83	△88
		教職員	89	89

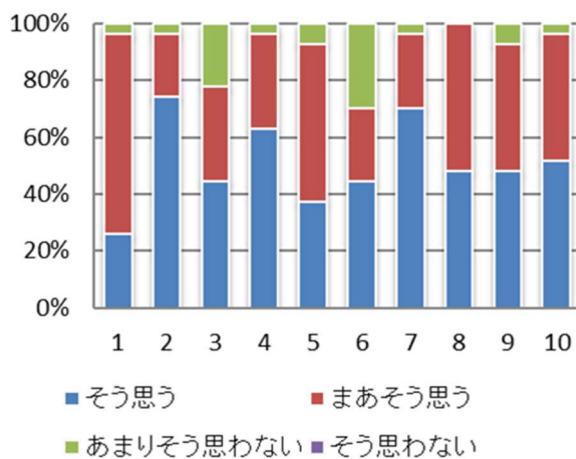
**R1 保護者から見た
児童の姿**



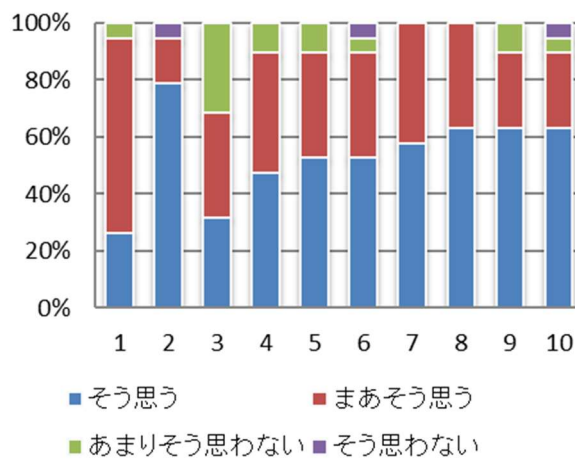
**R2 保護者から見た
児童の姿**



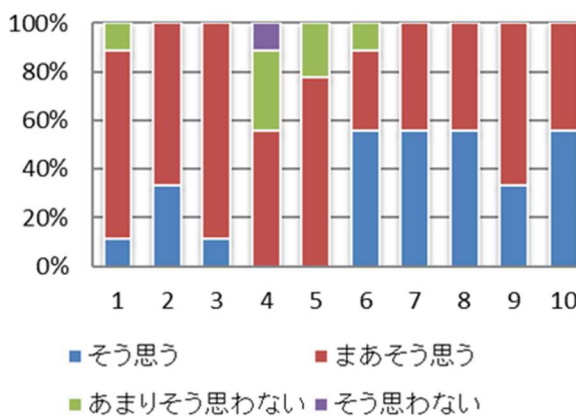
R1 児童自身の姿



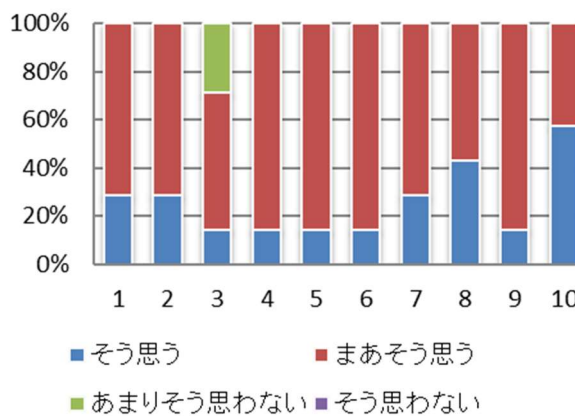
R2 児童自身の姿



**R1 教職員から見た
児童の姿**



**R2 教職員から見た
児童の姿**



設問2 がんばっていたこと、よりよくなったこと（自由記述）

- ・ あいさつ 4
- ・ 時間が守れている
- ・ 責任を果たすこと
- ・ くつの整頓 2
- ・ 言葉遣い 3
- ・ みんなに気配りすること・けんかが減った 3
- ・ できないところを少しずつ教えてもらい、練習してできるようになった 2
- ・ 書き取り
- ・ 九九
- ・ なわとび 2
- ・ 器械運動
- ▲ 去年から変わっていない

設問3 もっとこうなったらいいな（自由記述）

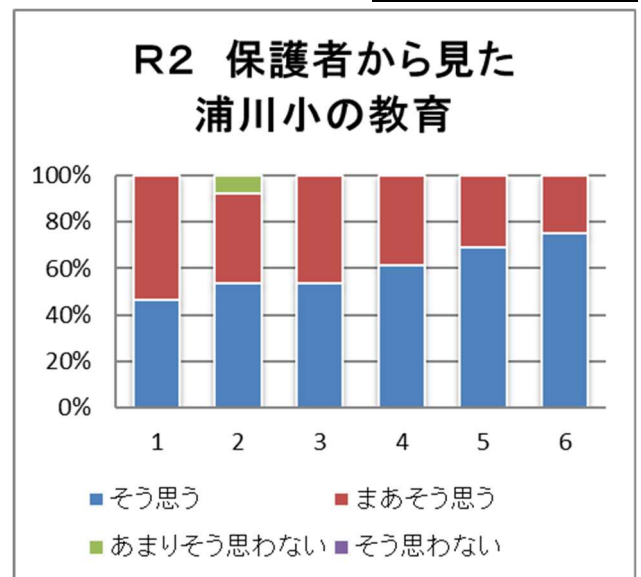
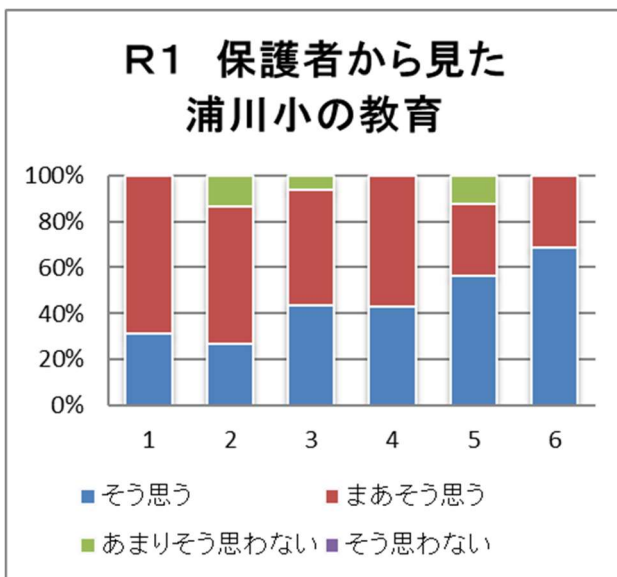
- ・ もう少し学年で仲良くしてほしい
- ・ 言葉遣い・注意の強さ 5
- ・ 人に優しく 3
- ・ もっと縛られていない校則を作る（メディアルール）
- ・ きれいな学校に・トイレのスリッパがバラバラ 2
- ・ 休み時間が多くなってほしい 2
- ・ 動物を飼いたい 2
- ・ 遊具が増えるとよい
- ・ 勉強が増えるとよい

- 1…かがやき発表や感想発表の場の設定などの継続で、教員の数値も上昇して、成長を実感してきている。
- 3…読書について、全体的に低い数値がさらに低下した。何らかの手立てを考える必要がある。
- 4…あいさつについては、地域の方の評価も高かった。合言葉など、印象的な取り組みも効果的であった。
- 5…言葉遣いについては、評価は上がったが、記述で課題と感じている児童も多かったため、引き続き指導・支援をしっかりとしていく。
- 6…運動については、部活日数や水泳時間は減っているが、全校運動や業間運動等を工夫してくれている効果である。
- 8…なかよく・思いやりは全体的に評価が高めであるが、記述ではけんかやもっと優しく、という記述も見られた。いじめに直接的につながる項目でもあるので、言葉遣い同様に、引き続き指導・支援をしっかりとしていきたい。

設問1 浦川小の教育について

*指数 = (そう思う×1+まあそう思う×0.75+あまりそう思わない×0.25+そう思わない×0) / 人数
つまり、回答者全員が「そう思う」と回答した場合を100とした場合の指数(以下の表も同様)

No.	質問	R1	R2
1	確かな学力が身に付く取り組みをしている。	83	87
2	思いやりの心を育て、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	75	△85
3	たくましい体を鍛える取り組みをしている。	83	88
4	三者面談など相談しやすい環境を作り、家庭と連携している。	86	90
5	家庭や地域に情報を発信し、連携・協力している。	83	△92
6	子どもの健康や安全に気を配っている。	92	94
	平均	86	89



全体的に評価が上昇した。No4について、一昨年度は10ポイント程度評価が下がっていた項目である。いじめや生徒指導、保護者との関係づくり等、いろいろな活動に関わる項目なので、今後もよりよい信頼関係を築き、家庭や保護者と連携して生徒指導や子供たちへの支援ができるようにしていきたい。

No2の評価も大きく上昇したが、「あまりそう思わない」回答もあり、児童の評価でも言葉遣いなどの課題が挙がっている。子供との関係づくりや保護者との連携、職員間での連携をさらに高めて、いじめのない学校づくりを進めていきたい。

設問3 設問1・2への補足・教育活動への御意見・御要望(自由記述)

<設問1・2補足>

- ・ (1) - 2 「いじめのない学校づくり」のところは、どのような取り組みがされているか分からなかったため、2を選びました。実際に大きないじめ等が起こっていないので、何らかの取り組みはしていたと感じています。

<児童数の減少>

- ・ 年々児童数が減っていくので、この先どうなるか心配である。浦小の良いところをもっと外にアピール(発信)して、児童数を増やすための活動などができないか。

- ・ 閉校や子供たちの次のステージを考えていかないといけないと思う。閉校はすごく大変だと耳にしたことがあります。佐久間に行っても、また何年か後に同じ大変さをするのはいやなので、他にどんな方法があるか知恵を貸してほしいです。小中いっしょに考えていきたい。

<行事>

- ・ 運動会…午前開催は種目が減ってしまい残念だが、終わってみてよかったと感じた。子供たちも満足しているようなので、午前のみでよいと思う。
- ・ 運動会は午前短縮でしたが、来年度のことを考えるとちょうどよかったと思います。子供たちもずっと出ていて大変だったかもしれませんが、だらけずできるいい時間だったと思います。
- ・ 運動会でペット（犬）を校内に連れてきた方がいて、アレルギーがあるのでやめてほしいと思いました。
- ・ 資源回収の見直し。5月は中学校が部活や新人戦等で実質小学生のみとなっているので、今年のように1回にして全員でやっていきたい。

<健康安全・新型感染症>

- ・ コロナ…浦川でも出たが、密にならないと思うので換気・消毒を徹底していけば大丈夫だと思います。
- ・ 予想もしていない感染症拡大で、行事等も十分に配慮され考え抜かれて実施されていることがよく伝わってきます。遠足や修学旅行など、地元を離れる行動に心配はつきものですが仕方ありません。来年は、できることなら部活の大会は佐小・浦小の2校だけでもできるといいなと思います。
- ・ まったく先が見えないコロナの中で、行事などいろいろ考えてくれて感謝しています。
- ・ 寒い時期、冷たい水で頻りに手を洗うのはかわいそうだと思います。手荒れをするのであればハンドクリームを持たせようと思います。

<ボランティア>

- ・ ボランティア…地域の方の参加はなかなか難しい状況なので、早めに言ってくれれば保護者の方で予定や都合を立ててくれると思うので、言ってください。子供たちと先生方が安全に元気に過ごせるようにお手伝いします。

<その他>

- ・ HPの学校行事、後期分も見れるようにしていただけるとうれしい（今は前期分しか見れません）※対応済み
- ・ アンケートを行事があるときに毎回記入する方が忘れずに済むと思います。
- ・ 野外教室説明会は、場所や内容が大きく変わらなければ3年だけでよいです。
- ・ 野外教室説明会はいらないと思う。必要な人のみ、直接先生と話をしてもよいと思う。

<激励>

- ・ 子供一人一人と向き合って指導してくださっていることに感謝します。
- ・ 少人数の強みが出ているなと思い、ありがたいです。
- ・ 活動・行事…学校側はよくやっていると思います。できる範囲でよいのでこれからもよろしくお願いします。

設問① 浦川の子供について感じること

(『自分らしさが輝く子』の育成)の取り組み、自分らしさや自分のよさに気付くことができる感性、自己肯定感という視点から)

- とても気持ちのよい子だと思います。朝はおはようございます、昼は「今日は～」と声を子供たちからかけてきます。素直で良い子です。
- 全校児童19人と少ない中で、水泳練習、運動会、学習発表会等、一致団結して頑張っていると思います。
- 大きな声で挨拶ができています。
- 朝子供たちが通るので声をかけたら、ペコッと頭を下げ飛んで行ってしまったけど、何回かしたら子供たちから「おはようございます」と言ってくれてうれしかったという話を聞きました。みんな見守られ過ぎているかもしれないけど、伸び伸びしていると思います。
- 子供たちはとても素直で、学年に関係なくみんな仲よしだと感じます。少人数だからこそできる素晴らしいことだと思います。
- 少人数ですが、一人一人が一生懸命がんばっていると思います。特に学習発表会でそう感じました。
- 優しさ、思いやりがあり、どんなことにも一生懸命取り組む姿が多くなってきたと思います。行事にもそれが表れています。地域の人たちに愛されている子だと思っています。
- あいさつがきちんとでき、大変良いと思っています。あいさつの意味をしっかりと教えたいと思います。
- 少人数でなおかつ学年の違う子がいっしょに学んでいると思います。上級生が下級生を世話する、イレギュラーだからできる良い点を生かしていく逆転の発想で。
- 道で会ってもちゃんと頭を下げ、あいさつができる子供たちです。一番簡単で難しいことが素直にできることは、素晴らしいことだと思います。
- 自分たちが子供の頃と比べると、井の中の蛙のような子が見当たらないというか、物おじしない子が多いと感じます。人数が少ないことで指導が行き届くこともその理由の一つかもしれませんが、教育目標に沿っての取り組みが間違っていない証明でもあると感じます。
- ▲ 少人数のよさが見られるようになったと思う反面、同年齢の人数が極めて少ないために、他とのかかわりや我慢、耐えるという面での育ちが今一步のように思われる。
- ▲ どの家でも子供の数が少なく、毎日の生活の中で自然と身に付く礼儀や競争等があまりないように思います。学校で何事にも関心がある子に育ててほしいと思います。
- ▲ 生徒数が少ないため、人のつきあい範囲が狭いように感じる。

設問② 学校が果たす役割として期待すること

(「市民協働による人づくり、地域で子供を育てるという視点から)

- ・ 一人一人に目が届いています。
- ・ CSの取り組みにより、地域の方の学校への関心が高まったように思う。
- ・ 市内の大きな小学校と比べると何事についても競争心が少ないと思います。他の子

に負けないようにあらゆる機会にいろいろな場所で、大勢の中で自分の意見や行動ができるように育ててほしい。

- ・ 周りの人たちと協調性をもって付き合える感性を育てると、物事を自分で考えることができるようになる。
- ・ 学校から発信していただけることで地域の方は注目し、協力できることは協力する、いろいろ発信してください。
- ・ 一人一人が伸び伸びと育ってくれるよう願っています。良いこと悪いことの分別ができる人、思いやりの心をもてる人に育っていけるようご指導いただきますようよろしくお願いします。
- ・ 学習発表会での浦川歌舞伎は、市民協働による人づくりそのものです。大変ですが、今後も続けていってほしいです。
- ・ 最近の情勢では、日本はパソコンを利用する割合が先進国において低いとのことです。デジタル中心社会に向かう日本にとって、仕事においてもパソコンの授業は大切に思います。社会に出て、遅れを感じさせないような教育をお願いします。
- ・ 今年はCS通信にて学校の様子や地域の人たちの協力・支援等も、その内容が分かり、関心も高まってくるのではと思っています。いろいろな面で発信してほしいと思います。
- ・ NPO活動に参加（そばの刈り取り、環境美化、そば祭りの手伝い）
- ・ 父兄以外にも、いろいろな人と連携を取り合い協力してもらえよう、普段から関係をもって進めたらよいと思います。
- ・ 人の少ない田舎、少子化等状況はいろいろあるが、大きなところ（社会）に出たときに、協働・共同・協同の言葉の意味のようなことができる社会人、社会で通用する人間としての初歩・基礎を学ばせてほしいと思います。

設問③ 学校に対する御意見・御要望

- ・ 校庭は地域にとって公園のような場所です。学校だより等で四季折々の様子を紹介するとよいのでは。足を運ぶ機会になると思います。
- ・ 警察の仕事、装備品の説明などしますので、社会科の授業でよかったですら来てください。
- ・ 地域の方に協力してもらいたいことは、具体的に知らせていただければもっと協力してくれる人もいると思う。もっとアピールをするとよい。
- ・ 先生方の子供たちへの熱い思いを、学校に伺うたびに感じます。
- ・ 浦川小学校での学習や体験を通して、大人になってもよき思い出になり、故郷を大切に思ってもらえよう地域住民として見守り、協力してまいります。
- ・ コロナウイルスによる制約が続く中での授業は大変だと思いますが、安全衛生に十分注意され、無理をしないようにがんばってください。
- ・ 学校では学べない雑学を、地域の人たちによって知識をつけてほしいと思います。
- ・ 大きな学校の子供たちとの触れ合いが、小さな学校の子供たちには必要ではないかと思っています。そのような機会が多くなることを望みたいです。

- あいさつや、行事へ取り組む態度や意欲など、子供たちの表れに対して高く評価してくださっている。また、少人数ならではの取り組みの効果に期待している方も多い。一方で、少人数ゆえの弊害について、例年同様に課題としてとらえている方もいた。
- 学校運営協議会やCS通信の効果に言及している意見も多かった。
- 地域には、学校へ協力しようとする思いをもつ方が多い。そのために、いろいろな場面での情報発信を求める声も複数あった。

【学校関係者評価】

- 読書について
 - ・ 佐久間図書館と連携したり依頼したりして、子供たちに興味をもたせる活動をしたらどうか。
 - ・ 読み聞かせボランティアの充実
- 運動会について
 - ・ 保護者は、午前中開催でよいという考えをもっているようである。
 - ・ 今年度はできなかったが、昨年度から学校運営協議会で始めたバザーや地域種目をどのように組み込んでいくか検討していきたい。
- 浦川の魅力発信について
 - ・ 城北工業高校の子供たちが、NPOと連携して校区内の遊歩道整備をしたり植林したりしているなど、他地域の子供たちが浦川に興味をもっているということを、浦川の子供たちや地域の人たちに知ってほしいと感じる。
- 評価全般を通して
 - ・ 子供たちが順調に育っているということが、学校評価から伝わってきた。